

第I章 策定の趣旨等

1 策定の趣旨

産業イノベーションの創出に向けて、本県の製造業の目指すべき姿を示し、具体的な施策を展開することにより、その姿を実現することを目的として、本プランを策定する。

2 位置づけ

県政運営の基本となる「しあわせ信州創造プラン2.0～学びと自治の力で拓く新時代～」(計画期間：2018年度から2022年度までの5年間)の実現を、製造業振興の面から支えるものとして位置づける。「学びと自治の力」を推進エンジンとして、「共創」により政策を展開することにより、「産業の生産性が高い県」の実現に貢献する。

3 性格

- ◇旗印 今後、本県の製造業が目指すべき姿やその実現に向けた道筋を示す旗印
- ◇拠り所 企業、大学、産業支援機関、行政機関、金融機関等が一体となった取組を推進する上での拠り所
- ◇発信 本県の産業立地上の優位性や働く場としての魅力等をアピールするため、本県の政策的取組や産業の優位性等を内外に広く発信

4 計画期間

2018年度から2022年度までの5年間

5 対象業種

製造業(ものづくり産業)を本プランの対象業種とし、製造業と製造業以外の業種が連携した取組についても積極的に展開していく。

第II章 現状と課題

1 長野県経済の現状

(1)産業構造の状況 (2)県民所得の状況 (3)雇用の状況 (4)開業、廃業の状況

2 長野県製造業の現状

(1)製造品出荷額等、付加価値額の状況 (2)事業所数、従業者数の状況 (3)海外進出の状況 (4)輸出の状況 (5)工場及び研究所立地の状況 (6)生産設備の状況

3 製造業を取り巻く情勢の変化

(1)第4次産業革命の進展 (2)高まる自動車関連産業への依存度 (3)価値観の多様化による付加価値モデルの急速な変化 (4)製造業における大企業と中小企業の変化 (5)少子・高齢化の進展、生産年齢人口の減少 (6)求められる働き方改革 (7)不確実性が高まる国際情勢 (8)社会課題の解決に向けて期待が寄せられる民間企業が果たす役割

4 前プラン(平成24～29年度)に基づく取組の結果

(1)目標値の達成状況 (2)成長期待分野への展開 (3)下請型・受託加工型企業から提案型・研究開発型企業への転換 (4)12の重点プロジェクトによる取組

5 長野県・長野県製造業の特徴(強み)

(1)加工組立型産業に特化した産業構造、高度な技術や革新的・独創的な製品を保有する企業の集積 (2)地域貢献度が高い大学の存在、大学の特徴ある技術シーズ (3)活発化する産学官連携による取組 (4)他分野と連携した取組 (5)豊富で特徴ある地域資源 (6)産業に適し、暮らしやすい環境 (7)健康長寿 (8)交通ネットワーク

6 本プランに位置づける長野県製造業の課題

国際競争力を有する高付加価値型産業への体質転換

第III章 本プランにおいて目指すべき姿

【目指す産業分野】

健康・医療 環境・エネルギー  
次世代交通

【目指す市場】

アジア新興国市場  
先進国の需要が拡大する市場  
EPA/FTAの締結国

【総括的な目指すべき姿】

産業イノベーションの創出に向けて、  
積極果敢にチャレンジする  
ものづくり産業の集積

【総括的な目標値】

県内の産学官金が総力を結集して  
目指すものづくり産業の「稼ぐ力」  
製造業の従業者一人当たり  
付加価値額  
2020年 1,260万円  
(2015年実績額 1,117万円)

【具体的な目指すべき姿①】

産業イノベーションの創出に向けた活動に  
取り組む企業の増加

長野県中小企業  
振興条例と整合

【具体的な目指すべき姿②】

県内各地域における、国際競争力を有する  
高付加価値型の次世代産業の集積形成

第IV章 目指すべき姿を実現する道筋(施策展開の方向性)

【道筋(施策展開の方向性)①】

県内企業における産業イノベーションの創出活動促進

- ・県内企業による産業イノベーション創出活動の入口から出口までを支援する施策を提供
- ・上記施策を活用して、ワンストップ、ハンズオン型の一貫支援ができる統括的な支援体制の整備
- ・提供する施策や整備する統括的支援体制を活かした創業支援や企業誘致

信州型  
産業イノベーション・  
エコシステムの形成

両道筋を関連づけて  
効果的に推進

【道筋(施策展開の方向性)②】

次世代産業クラスターの形成

- ・競争優位性を持つ県内産業の核を基にした、産業集積形成活動が促進されるよう、産学官金の共創によるプロジェクトを県内全域で実施
- ・各プロジェクトの課題解決や連携・相互補完等を支援するなど、戦略的にマネジメントを行う統括的推進体制の整備

第V章 産業イノベーションの創出活動促進のための重点施策

- 1 産業イノベーション創出研究開発支援  
～研究開発プロジェクトの多数組成と事業化の成功確率の向上～
- 2 AI・IoT等先端技術活用型新事業創出支援  
～ビッグデータを活用した新ビジネスの創出に貢献～
- 3 課題解決型企業群形成支援  
～先端技術の導入と基盤技術の強化による提案力の向上～
- 4 地域資源活用支援  
～地域資源を活用した高付加価値製品の創造～
- 5 マーケティング力強化支援  
～有望分野・市場の把握及び販路開拓支援～
- 6 産業人材育成支援  
～長野県産業の「稼ぐ力」を創出する人材の育成・確保を進めるため、切れ目のない支援を目指す～
- 7 産業人材確保支援  
～理工系学生や専門人材を対象とした取組～
- 8 起業・スタートアップ支援  
～日本一創業しやすい県づくりの推進～
- 9 産業集積及び投資促進  
～長野県の強みを活かした企業誘致・雇用創出～

第VI章 産業イノベーション創出型プロジェクト

- 【健康・医療分野】
- 1 プレメディカルケア産業の集積形成
  - 2 材料・精密技術等の融合による健康・医療機器関連産業の集積形成
  - 3 東信州広域連携による次世代自立支援機器・産業機器製造業の集積形成
  - 4 超精密加工技術による医療・ヘルスケア機器分野への参入企業の集積形成
  - 5 オープンイノベーションによる日常生活動作支援産業の集積形成
  - 6 健康増進と経済活性化に寄与する食品関連製造業の集積形成
  - 7 すんき等の発酵食品による地域のブランディングを通じた産業の集積形成
  - 8 住民参加型の健康・医療関連産業の集積形成
  - 9 ヘルスツーリズムの活性化に資する農商工連携型産業の集積形成
  - 10 からだに優しい食品製造業の集積形成
  - 11 地域資源を活用した発酵食品・機能性食品産業の集積形成
- 【環境・エネルギー分野】
- 12 信州カラマツ活用型産業の集積形成
  - 13 「水浄化関連技術」の事業化を通じた関連産業の集積形成
  - 14 ゼロエミッション生産技術による環境調和型産業の集積形成
  - 15 高度科学的手法による未利用バイオマス新規活用産業の集積形成
- 【次世代交通分野】
- 16 航空機システム産業の集積形成

第VII章 実施スケジュール及び進捗管理

- 1 重点施策及びプロジェクトの実実施スケジュール
- 2 進捗管理

第VIII章 推進体制

プランの実効性を高める推進体制  
(統括的推進体制の整備、本県の産業支援体制の更なる高度化等)

## 長野県ものづくり産業振興戦略プランの取組状況について

### 目標値の達成状況

本プランの総括的な目標値  
2020年における  
「製造業の従業員一人当たり付加価値額」  
→ 1,260万円



「製造業の従業員一人当たり付加価値額」  
2015年 1,117万円 → 2019年 1,076万円  
(工業統計調査速報値/2021年3月発表)  
従業員数：2015年 188,720人 → 2019年 202,007人  
付加価値額：2015年 2兆 1,083億円 → 2019年 2兆 1,734億円

### 取組状況

#### I 産業イノベーションの創出活動促進のための重点施策（9施策）

##### 1 産業イノベーション創出研究開発支援 ～研究開発プロジェクトの多数組成と事業化の成功確率の向上～

研究開発成果の事業化を目的に、県内企業や大学などの優れた技術について競争優位性の検証、用途展開可能性の探索、事業化戦略の策定を支援するとともに、県テクノ財団による一貫支援も実施。

- 【実績】・産業イノベーションにつながりうる有望な研究開発に対し助成等により支援（12件）  
・県テクノ財団の支援による国プロジェクト（サポイン等）の獲得（2件）

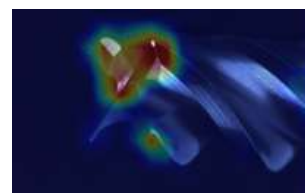
#### 今後の取組

- ・テクノ財団と中小企業振興センターの統合により、一貫支援体制を強化
- ・「目利き集団」と県内企業、大学等との連携を促進し、技術開発支援を強化

##### 2 AI・IoT等先端技術活用型新事業創出支援 ～ビッグデータを活用した新ビジネスの創出に貢献～

AI活用/IoTデバイス事業化・開発センターの専門人材により、IoT技術を活用したデバイス開発などの一貫支援を展開。また、工業技術総合センターが支援機関、IT専門家等と協働し、製造業等の生産現場等のDX化を支援。

- 【実績】・サービスや健康・医療分野等へIoT技術を活用する研究開発プロジェクトの立ち上げ及び継続支援（11件）  
・生産現場のDX実装に向けた導入実証や本格実装を支援（11件）



▲AI 深層学習によるドリル刃先  
摩耗・不良個所の可視化

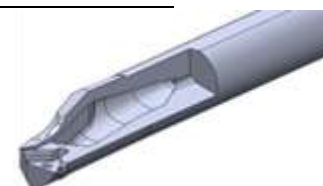
#### 今後の取組

- ・現在支援をしているプロジェクトの早期事業化に向けた取組を実施
- ・DX実装に取り組む企業の成果を公表し、県内企業のさらなる研究開発を促進

##### 3 課題解決型企業群形成支援 ～先端技術の導入と基盤技術の強化による提案力の向上～

県内下請型・受託加工型企业がこれまで蓄積した研究開発経験を活かし、川下産業の課題を解決できる企業へ着実に成長できるよう、自社技術の強化や他の基盤技術の習得等を支援。

- 【実績】・県内下請型企業の課題解決力を強化する研究会の開催（8研究会）  
・研究会における共同研究の実施（14件）



▲工具の内部構造最適化により  
防振性能を向上

#### 今後の取組

- ・支援先企業の強みとなる優位な技術の把握と川下企業への技術提案支援
- ・支援先企業の自社技術を核とした課題解決のための技術開発への支援



#### 4 地域資源活用支援 ～地域資源を活用した高付加価値製品の創造～

地域資源製品開発支援センターやしあわせ信州食品開発センターなどによる、高品質な原材料の開発、製造技術向上、感性価値を高めるデザインの提案などの支援を実施。

- 【実績】**・1,523 件の相談に対し 217 件の支援を実施  
(うち 39 件の商品化に成功)  
・県内酒蔵の国際コンクールへの出品支援 (5 件)



▲新型コロナウイルスの影響で土産物店での販売が激減していた新そばを家庭向けに商品化

##### 今後の取組

- ・特色のある地域資源を活用した製品開発を企画から販路開拓まで一貫して支援
- ・伝統的工芸品産業の新商品開発にも注力

#### 5 マーケティング力強化支援 ～有望分野・市場の把握及び販路開拓支援～

中小企業が取り組む有望市場への販路開拓を支援するため、国内外展示会への出展機会の提供や技術提案型商談会等を開催。

- 【実績】**・工業製品に係る国内外展示会・商談会等への出展支援(9回、成約件数13件)  
・加工食品に係る国内外見本市・展示会等への出展支援(6回、成約件数9件)  
・加工食品に係る独自商談会の開催(8回、成約件数41件)

##### 今後の取組

- ・WEB 商談会に加え、工業製品については、新たにマッチング機能等を有する WEB サイトを構築
- ・加工食品については、WEB 商談と対面商談と組み合わせて実施することで販路開拓を支援

#### 6 産業人材育成支援 ～長野県産業の「稼ぐ力」を創出する人材の育成・確保を進めるため、

切れ目のない支援を目指す～

次世代のものづくり産業を担う人材の確保・育成を図るため、キャリア教育を推進。また、県内ものづくり産業の技術力の向上、若手技術者の育成を図るため、在職者向けの講座の開催。

- 【実績】**・信州・未来のひとづくり塾の開催 (93 講座開講)  
・スキルアップ講座の開催 (120 講座開講)



▲信州・未来のひとづくり塾

##### 今後の取組

- ・中学生を主な対象に企業経営者等が地域の未来を見据え自分の仕事・企業の魅力を紹介する講座の実施
- ・令和4年度スキルアップ講座の開講

#### 7 産業人材確保支援 ～理工系学生や専門人材を対象とした取組～

新規卒者の県内就職促進や働き方改革の推進による人材の定着を目的とした事業を展開。

- 【実績】**・WEB とリアルによる「インターンシップフェア」の開催  
・アドバイザーの企業訪問による多様な働き方制度導入促進 (2,640 社)  
・ガイドブック作成等によるテレワーク導入支援



▲テレワーク導入ガイドブック

##### 今後の取組

- ・オンライン企業セミナーやインターンシップフェアによる県内企業の魅力発信
- ・新「職場いきいきアドバンスカンパニー」認証企業の情報発信を強化 など

## 8 起業・スタートアップ支援 ～日本一創業しやすい県づくりの推進～

イノベティブな創業を促進するため、情報の一元化やマッチング支援、創業支援拠点の整備による新たなビジネス創造支援等を実施。

- 【実績】・「信州スタートアップステーション」を開設し、専門コーディネータによる相談対応やセミナーを実施（相談延べ 419 件、セミナー20 回）
- ・スタートアップ期の事業者を対象に、直面する課題を解決し成長を加速するための支援（アクセラレーション事業）を実施（5 者を支援）



▲信州スタートアップステーション matsumoto

### 今後の取組

- ・松本市に加え、新たに長野市にも創業支援拠点を開設し県内全域における創業支援体制を構築
- ・創業支援拠点を核として、様々な支援施策を有機的に繋げなげること、一体的な支援を実施

## 9 産業集積及び投資促進 ～長野県の強みを活かした企業誘致・雇用創出～

企業誘致や県内企業の成長期待分野等への参入に向けた投資促進への取組、助成制度や税制優遇、融資、販路開拓などの総合的な支援を実施。

- 【実績】・工場・研究所の立地（20 件）、本社機能の移転・拡充に伴う事業認定（2 件）
- ・コロナ禍で地方回帰が注目されている中、WEB サイトの更新や PR 動画の作成、漫画キャラクターを活用した PR 等を実施

### 今後の取組

- ・地域の課題に即した企業の呼び込みによる地域と県外企業のマッチング促進
- ・地方回帰の流れを活かし、国・県等の優遇制度を活用した本社機能の移転等促進

## II 産業イノベーション創成型プロジェクト（16プロジェクト）

### 健康・医療分野

#### 1 プレメディカルケア産業の集積形成

佐久地域において、プレメディカルケア（病気の予防、早期発見、健康増進）に関する産業の創出と集積形成を目指し、ワーキンググループ会議の開催や個別プロジェクトの試作開発支援等を実施

- 【実績】・医療現場のニーズ調査等を行う会議を開催（5 回）
- ・プレメディカル機器の試作開発や専門家による評価・助言を実施（継続 6 件、新規 6 件）

### 今後の取組

- ・ワークショップの継続的な実施
- ・個別プロジェクトの立ち上げ（具体的な製品開発や事業化の支援）

#### 2 材料・精密技術等の融合による健康・医療機器関連産業の集積形成

県内企業の精密加工技術や信州大学の材料技術を活かした健康・医療機器関連産業の集積形成を推進。

- 【実績】・「信州医療機器事業化開発センター」による医療機器開発支援マッチング支援等（8 件）、薬事承認等に係る相談支援（10 件）
- ・「信州メディカルデバイスグローバル展開センター」による販路開拓支援グローバル展開企業への技術提案等（8 件、16 社参加）



▲核酸抽出機一体型 PCR 検査機の開発

### 今後の取組

- ・事業化を促進する支援体制の強化と開発プレイヤーの増加に向けた人材育成の場の構築
- ・医療機器開発等に取り組む実務者等により、支援施策の進捗管理や改善、今後必要な施策について議論

### 3 東信州広域連携による次世代自立支援機器・産業機器製造業の集積形成

東信州次世代産業振興協議会等が取り組む産学連携・研究開発、人材確保・育成、ネットワーク強化に対して支援を実施。

- 【実績】・次世代産業創出に向けた開発プロジェクトの立ち上げ・事業化検証・市場調査を実施（4件）
- ・高校生と企業との情報交換会開催による人材確保支援（企業38社、高校生441名が参加）



▲ディーゼル排ガス浄化装置等の事業化支援

#### 今後の取組

- ・新規プロジェクトの立ち上げ及び事業化に向けた事業運営の支援（補助制度の申請支援を含む）

### 4 超精密加工技術による医療・ヘルスケア機器分野への参入企業の集積形成

諏訪地域で、医療・ヘルスケア機器の開発・生産に取り組む企業を増やすため、展示会等の販路開拓支援や研究会活動を通じたニーズマッチングを実施。

- 【実績】・オンライン技術交流会を実施（3回、45社参加）
- ・医療現場の課題をテーマとした個別の研究会を実施（7テーマ）



◀Aライン固定具とナースコール表示板の開発支援

#### 今後の取組

- ・医療機関におけるニーズの把握、課題解決に必要な要素技術、商品イメージの調査
- ・医療機器製品開発における薬事、特許対応等の具体的実地指導を通じた人材育成の実施

### 5 オープンイノベーションによる日常生活動作支援産業の集積形成

高齢や障がいによる日常生活の不自由や看護をサポートする製品・サービスを開発・実証して、社会実装・ビジネス化に結び付ける産業の集積形成を実現するための情報交換や研究開発を実施。

- 【実績】・INA Valley 産業支援ネットワークによる情報交換会（2回）や勉強会を開催（1回）
- ・スマート看護・福祉研究会による看護（介護）用椅子の開発を推進

#### 今後の取組

- ・INA Valley 産業支援ネットワークなどによる継続的な活動の実施
- ・日常生活動作を支援する製品・サービスの掘り起こしと積極的なPRの実施

### 6 健康増進と経済活性化に寄与する食品関連製造業の集積形成

南信州の特徴的な食品を活用した健康増進や高齢者介護、地域経済活性化に向けた取組として、食品分析評価や商品開発支援等を実施。

- 【実績】・飯田メディカルバイオクラスター食品系分科会によるシンポジウムを開催（2回、延べ156名参加）
- ・腸内環境を整え健康増進に有効なルミナコイドに関する勉強会を開催
  - ・商品化に向けた企画デザイン等の個別支援（5者）



▲支援を行った新商品  
月見堂「豆を楽しむ甘納豆」

#### 今後の取組

- ・健康増進に寄与する新商品開発に対する支援の実施、企画デザイン等の個別支援の実施
- ・エス・バードでの研究機関による食品の分析評価支援の実施 など

### 7 すんき等の発酵食品による地域のブランディングを通じた産業の集積形成

すんき等の発酵食品を核とする食品製造業を中心に、農業や観光等の他の産業と連携して、木曽地域に地域産業を集積するための商品化支援や情報発信を実施。

- 【実績】・木曽路物産展やラジオを通じてすんき等の発酵食品のPRを実施（3回）
- ・すんきの生産・販売・加工・PR・販路開拓に関する情報交換を行うプロジェクト会議を開催（4回）

#### 今後の取組

- ・すんき等の製品の安定供給及び品質向上に向け、原料生産及び加工・販売事業者の連携体制を強化
- ・メディアや食品関連の展示会・物産展において、木曽地域の発酵食品の優位性についてPRを実施



## 8 住民参加型の健康・医療関連産業の集積形成

住民参加による健康機器等の開発を促進しての健康・医療関連産業の集積形成の実現を目指し、松本ヘルス・ラボによる住民の健康意欲向上に資する取組及び信州大学による住民の在宅医療・看護・介護にまつわる「悩み」「困りごと」を収集する取組等を実施。

- 【実績】・住民の健康意欲向上を図るための健康プログラムを実施（130回、延べ2084人参加）
- ・これからの在宅医療・介護を地域みんなで考える Home Medicare Labo のホームページを設置
  - ・医療機器を開発、創出できる人材の育成等を目的としたセミナー等を開催（7回、延べ419名参加）

### 今後の取組

- ・健康・医療関連産業の集積を加速させるため、更なる住民や企業の参画を促進

## 9 ヘルスツーリズムの活性化に資する農商工連携型産業の集積形成

北アルプス地域で取り組まれているヘルスツーリズムの普及促進につながる健康関連製品の開発・改良プロジェクトを推進することを目的とした協議会を設置・運営。

- 【実績】・産学官金により構成される協議会において、企業訪問等による情報収集を実施（延べ19者）
- ・ハーバルヘルスツーリズム関連製品開発等推進プロジェクトによる研究開発への支援

### 今後の取組

- ・ヘルスツーリズムの普及促進・機運醸成を目的としたセミナー・勉強会等の開催
- ・コロナ禍でのヘルスツーリズムによる観光振興の在り方や観光商品の組み立て方を検討

## 10 からだに優しい食品製造業の集積形成

長野県食品製造業振興ビジョンに基づき、長寿県 NAGANO の「からだに優しい食品」の創出・提供を核として、国内外の食市場で優位性を確保する食品製造業の集積形成の実現に向けた取組を推進。

- 【実績】・県内食品の機能性エビデンスの取得に向け、免疫調節作用等についての研究を実施
- ・「発酵巡りツアー」の提案やインフルエンサーを通じた発信等によりブランド発信

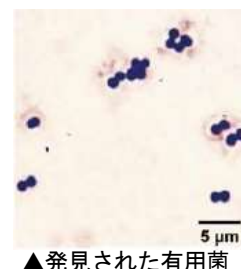
### 今後の取組

- ・しあわせ信州食品開発センターを中心とした商品開発支援の実施

## 11 地域資源を活用した発酵食品・機能性食品産業の集積形成

醸造蔵に存在している多くの地域遺伝資源（発酵微生物等）や豊富な果物等の地域資源を活用した発酵食品・機能性食品産業の集積形成を目指し、地域の醸造蔵の「菌」を活用した商品化に向けた取組を開始。

- 【実績】・科学的解明により発見された有用菌について信州大学が特許出願
- ・発見された有用菌を活用した機能性食品の商品化に向けて試作検証を開始



▲発見された有用菌

### 今後の取組

- ・有用菌の科学的解明と有用菌を活用した企業グループによる味噌等食品の試作検証
- ・普及PRや商品化二卒の探索のための展示会出展 など

## 環境・エネルギー分野

### 12 信州カラマツ活用型産業の集積形成

信州カラマツの活用方法を研究し、住宅関連等へ製品展開する企業の創出を図ることを目的に、信州カラマツ等の木材寸法安定処理技術に関する基礎的な研究データの収集や事業化に向けた情報収集等を実施。

- 【実績】・木材寸法安定処理技術に係る技術開発の実施
- ・科学的なエビデンスの蓄積

### 今後の取組

- ・信州カラマツを活用した製品の実用化に向けた研究開発の推進

### 13 「水浄化関連技術」の事業化を通じた関連産業の集積形成

水浄化関連技術の研究開発や事業化を支援することにより、プロジェクト参画企業の発展・成長や、県内への研究所等の移転、県内企業による用途開発等を促進し、関連産業の集積形成を推進。

- 【実績】・アクア・イノベーション拠点（COI）で蓄積した材料科学や開発手法を、多分野に展開するための会員制のプラットフォームにおいて、シンポジウムを開催
- ・新規ナノカーボン膜を用いた海水淡水化実証試験において、市販膜に比べ付着する汚れが半分以下で、より簡易的な前処理にできる可能性や洗浄用薬品の低減が見られた



▲ナノカーボン膜モジュール

#### 今後の取組

- ・研究開発の継続的な実施、研究シーズと企業のニーズや技術とのマッチング支援の実施

### 14 ゼロエミッション生産技術による環境調和型産業の集積形成

ゼロエミッション生産技術により、環境先進県長野を具現化する環境調和型産業の集積形成を目指すため、工業技術総合センターによる企業支援の実施や研究会を開催。

- 【実績】・AI活用/IoTデバイス事業化・開発センターにおいて、技術普及や利用促進を図るため、特別講演会や省エネ実習を実施（延べ308名）
- ・研究会会員へ生産状況の見える化や工程改善の支援を実施（5社）



▲省エネ実習

#### 今後の取組

- ・AI活用/IoTデバイス事業化・開発センターの研究開発拠点としての利用促進
- ・生産現場におけるIoT技術の普及促進

### 15 高度科学的手法による未利用バイオマス新規活用産業の集積形成

キノコ廃培地から高度科学的手法を用いて、高付加価値製品である希少糖を創出するビジネスモデルの構築により、未利用バイオマスの新規活用産業の集積形成を目指し、研究開発を推進。

- 【実績】・国の提案公募型事業により、キノコ廃培地から希少糖を抽出する工程を確立
- ・希少糖抽出後の残渣活用は、技術的にも目途が立ち、商品化を検討

#### 今後の取組

- ・キノコ廃培地からの抽出希少糖の生産事業化
- ・希少糖抽出後の残渣の商品化

## 次世代交通

### 16 航空機システム産業の集積形成

航空機システム関連の企業や研究開発支援機能が集積する「アジアの航空機システム拠点」の形成を実現するため、航空機システムに関する開発支援機能の強化や参入促進支援を実施。

- 【実績】・航空機産業を取り巻く環境変化を踏まえた対応方針を策定
- ・航空機システム共同研究講座による高度人材育成（修了生3名）
  - ・県外展示会への出展支援（5社）
  - ・参入機運を醸成するための航空機システム研究会の開催（2回、69社）



▲エンジンフォーラム神戸への出展支援

#### 今後の取組

- ・航空機部品を製造する生産設備等を活かし新たな販路開拓等に取り組む企業を支援
- ・航空機システム関連企業等が一堂に会するシンポジウムを開催
- ・世界的な航空機の電動化の潮流に対応するため、航空機システム電動化プロジェクトを実施